



きいめえさん通信

第16号

ヤギ除草シーズン3 延長戦!

4月24日から、船戸出張所管内にある岩出市宮の堤防裏でシーズン3となるヤギ除草の試行をしてみました。

ところが、ヤギ除草のスピードよりも草の成長の方が早く成果を上げられず、6月24日から、さらに2ヶ月の延長を決め、試行をしています。延長戦での除草隊の奮闘と活躍に注目が集まります。



きいめえさん

ヤギ除草の目的とシナリオ

ヤギ除草の目的は、大きく3つあり、「堤防除草」「環境保全」「コスト縮減」です。そして、そのシナリオは「ヤギの性質上、好きな草から順に食べていき、好きな草がなくなる」と嫌いな草も食べるため、除草範囲内の草が食べ尽くされる」というものです。

しかし、シーズン3では、その『ヤギの性質』を活かしきれませんでした。

シーズン3(2ヶ月間)の敗因

敗因は大きく2つ考えられます。それは「草の成長の速さ」と「除草範囲の広さ」です。

シーズン3の試行期間は4〜6月の草の成長が活発な時期のため、ヤギの好物の新芽や若葉が毎日生えてきました。そのため、除草隊は毎日好物の草を食べることができたので、嫌いな草を食べる必要が無かったです。

さらに、シーズン3開始時の除草範囲は、柵内全域の約400m(シーズン1の約4倍)ありましたが、広い柵内を隅々まで歩き回らなくても好物を食べることができたため、小屋から遠い上流端や下流端に行く必要が無かったです。そのため、上流端や下流端の草はシーズン2終了以降、放置され成長し続けたのでした。



分割して効率UP!

そこで、作業の効率UPのため、最後の10日間、除草エリアの真ん中に区切り柵を設置し、除草範囲を下流側に限定しました。

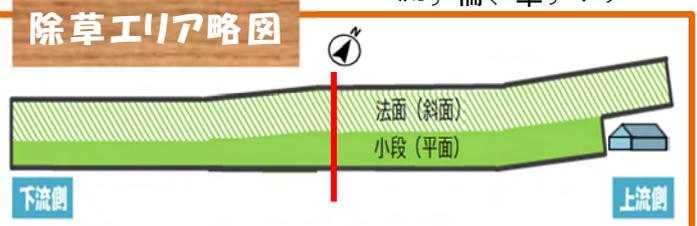
▲放置されていた箇所



延長戦は2ヶ月

延長戦は同じ場所、同じメンバーで8月23日まで行います。引き続き下流側に限定した除草を続け、除草の進み具合を見て、上流側に限定した除草を行います。

除草エリア略図



【発行】和歌山河川国道事務所
船戸出張所
073-477-1325



ふなトラ

和歌山河川国道事務所では、**除草コスト縮減**のための取り組みを**実施中!**堤防では点検のために年2回除草しています。この中で少しでもコスト縮減するため、刈草の腐葉土化や刈草ロール化に取り組んでいます。この場所では**ヤギ除草**のフィールド実験中。

腐葉土や刈草ロールの無料配布もしてるよ^^

下流限定除草の成果

下流限定除草は7月10日までの約4週間実施しました。草が放置され伸び放題だった箇所も、除草隊のガンバリで見違えるほどスッキリしました。



下流限定除草で成果があったので、7月11日から上流側の限定除草を開始しました。上流側は下流限定除草の期間放置されていたため、さらに草は大きくなりました。除草隊に大きな期待が集まります。

赤ちゃん隊員の成長

6月末に産まれたボーズの赤ちゃんはすくすく成長し、



お母さんを真似て草も食べられるようになりました。そして産まれてから3週間が経ち、一人前の除草隊になる修行のため、実家へと帰っていきました。

最強の雄の称号を賭けて

ある日、小屋の近くから「ゴッ...ゴッ...ゴッ」という、何か硬いものがぶつかると大きな音が聞こえてきました。辺りを見てみるとトミーとシバ夫が争っていました！



そんな会話があったかかったかかはさておき、この熱いバトルは何度も繰り返されました。

実はこのバトルのあった日は、ボーズが出産した日でした。ボーズが出産したため、オスのトミーとシバ夫が、自分の子孫を残すために、強さを競い合っていたのです。

リーダーを決める戦いは一瞬で終わります。けれど、今回は双方一歩も譲らず数日に渡り争い続けました。

4月に来たばかりのトミーは、幼い顔立ちに小さな体でしたが、この数ヶ月ですっかり大人になりました。

成長したな。すっかり別人やん。



※4月24日のトミー

シーズン3 メンバー紹介

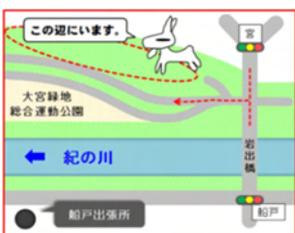


見学される方へのお願い

- ヤギにエサを与えないでください
- ヤギに食べ物や紙を与えないでください
- 柵の中に入ったり、柵を開けたりしないでください
- ヤギに触らないでください
- ※ 防犯カメラ作動中です

▲ヤギのいる場所

いわてはきたる 堤防を西に曲がって、少し進んだところですよ。 ※自転車道路のため車は入れない箇所です。



次号、ヤギ除草シーズン3いよいよ最終章！

&カゴの赤ちゃん誕生をレポートします！